1 NTTデータの先進技術研究開発

社会課題の解決につながる新サービスの創出を目指し先進技術の研究開発を推進

NTT データ 技術開発本部が取り組む研究開発領域は大きく 4 つある。ソフトウェア開発、プロジェクトマネジメント、IT 基盤、そして本特集のテーマである先進技術だ。さまざまな先進技術をいかに新サービスの創出につなげていくかをテーマに研究開発に取り組んでいる。本稿では技術開発本部のサービスイノベーションセンタが担う先進技術研究開発の概要を紹介する。

先進技術研究開発の技術領域

NTT データは、あらゆる情報をデジタル化して人・モノ・環境のリアル世界とサイバー世界を連携し、高度な知識処理を可能にする“Digital”技術に注目している。このトレンドを踏まえ、情報の蓄積・分析、収集・制御、認識・理解というサイクル（図 1 参照）をどのように進め、強化していくかをテーマに先進技術の研究開発を進めている。

蓄積・分析の領域では情報の分析・活用方法の検討、分析モデルの構築、蓄積される一方の大規模データに対応できる分析基盤の構築などに取り組んでいる。また収集・制御の領域では、収集した情報とさまざまなデバイスの連携、ロボットをいかに活用するかといった研究開発を進めており、必要となるさまざまな機能を実装した基盤を開発している。さらに認識・理解の領域では、音声や映像などのメディア認識、自然言語処理等に取り組んでいるほか、最近注目が集まっている AI（人工知能）にも力を入れており、2015 年 10 月には AI ソリューション推進室を設置した。

お客さまとのPoCに軸足を置きグローバル対応も強化

研究開発リソースを有効に活用するため重点事業領域を決めており、現在は交通、エネルギーマネジメント、ヘルスケアなどに力を入れている。各分野で社会課題を解決するような新サービスの創出につながる研究開発を目指すサービスイノベーションセンタの活動方針について、センタ長の風間博之氏は次のように述べている。

株式会社NTTデータ　技術開発本部
サービスイノベーションセンタ
センタ長 **風間 博之**氏

「単なる技術開発ではなく、お客さまと協力しながらいかに具体的なフィールドへ技術を展開していくかを重視し、積極的に PoC（Proof of Concept）を推進しています。グローバルへの対応も重要な要素です。今まさにインフラ開発が進むアジアでの PoC が多いのですが、適したフィールドがあればそれ以外の地域でも積極的に PoC を推進していく考えです。」

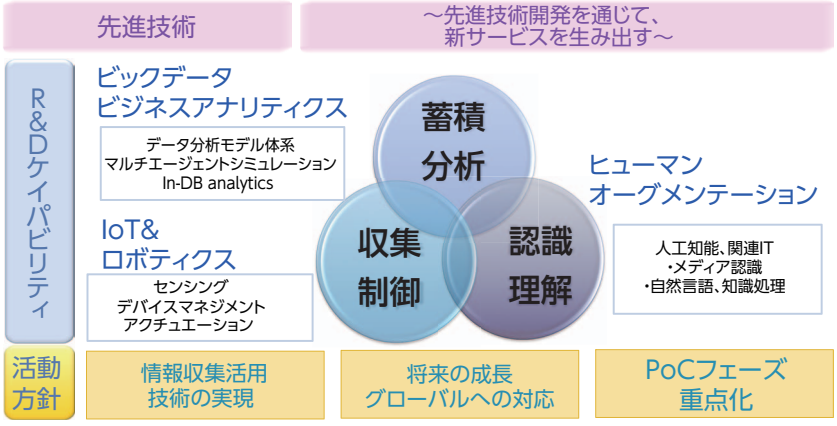

図 1　NTT データの先進技術研究開発